

”いのち”をつなぐ人命救助

迅速かつ的確な救命措置を行ったとして、12月6日、鈴木有平さん、伊藤博元さん、今野貴子さんの3名に白石消防署長から、感謝状が贈呈されました。



▶(写真右から)鈴木有平さん、伊藤博元さん、今野貴子さん

3名は、11月27日に蔵王町内の温泉旅館内において急に倒れ心肺停止となった男性に対し、救急隊が到着するまでの間、適切な救命処置を行い、尊い命の救助に尽力されたものです。男性はその後、引き継いだ救急隊の処置により心拍及び呼吸が再開しました。

突然意識がなくなった場合、その場に居合わせた人による適切な救命処置がなければ、救命することが困難となる中、3名の迅速な行動により救命につながったものです。

勇気ある行動で救命に貢献

住宅火災において人命救助に多大な貢献をしたとして、1月19日、佐藤敬子さんに白石消防署長から、感謝状が贈呈されました。

住宅火災は、12月10日、蔵王町大字円田地内で発生しました。佐藤さんは出火当時、出火建物付近の畑で農作業をしていたところ火災を発見、一人暮らしの女性を助けようと煙の充満する建物内に、自らの危険を顧みず進入、逃げ遅れていた女性に避難を呼びかけました。

自力で出てきた女性は、髪の毛や服が燃え、熱傷を負っていましたが、佐藤さんが近くの井戸からバケツで水をくみ、女性の燃えている部分に水をかけ、被害を最小限度に食い止めたものです。



▶佐藤敬子さん(写真右)

迅速な活動が被害を最小限に

建物火災で迅速な消火活動により火災の拡大を防止したとして、2月15日、目黒孝紀さんとヒタチ株式会社東北スパーハブセンターに大河原消防署長から、感謝状が贈呈されました。

火災は、12月28日、村田町大字村田地内で発生しました。火災現場に隣接するヒタチ株式会社東北スパーハブセンターの従業員が火災に気付き、従業員で協力し会社内の屋内消火栓により迅速な消火活動を行い、隣接する山林への延焼を防いだものです。



▶ヒタチ株式会社東北スパーハブセンター・中川豊明さん(写真中央)と目黒孝紀さん(写真左)

また、同社に勤務する目黒さんは、会社内にある屋内消火栓を使用することを提案、自らがリーダーシップを発揮し、同僚と協力して消火活動を行い、火災の拡大防止に貢献したものです。